



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月30日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東  
 コード番号 9731 URL http://www.hakuyosha.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五十嵐 素一  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(3460)1111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日~平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	9,578	4.4	△542	—	△502	—	△256	—
24年12月期第1四半期	9,178	6.1	△948	—	△956	—	△636	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 71百万円(—%) 24年12月期第1四半期 △443百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△6 70	—
24年12月期第1四半期	△16 61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	31,570	5,912	17.2
24年12月期	29,629	5,938	18.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 5,437百万円 24年12月期 5,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	2 50	—	2 50	5 00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	2 50	—	2 50	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日~平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,100	△1.4	550	△16.8	550	△18.5	420	56.1	10 96
通期	44,500	0.2	800	9.4	850	4.5	480	13.1	12 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規—社(社名) 、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	39,000,000株	24年12月期	39,000,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	684,524株	24年12月期	683,439株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	38,316,019株	24年12月期1Q	38,326,988株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～3月31日）におけるわが国経済は、欧州の債務問題や新興国の成長鈍化など不透明な要素が残るものの、新政権による経済政策への期待から、株価が上昇する等、景気回復に向けた明るい兆しも見られました。

こうしたなか、当社グループ（当社および連結子会社）では、中期経営計画に掲げた「顧客中心経営」を更に推進すべく「お客さまの声を聴く」活動を強化するとともに「お客さまの声に応える」活動に注力しております。

第1四半期連結累計期間（1月～3月期）の売上は、一般衣料品のクリーニング事業を柱とする当社業務の性質上、季節的要因として例年低位に推移する傾向がありますが、当期は春の訪れが早く、クリーニング事業での売上が増加したことを主因として、当社グループ売上高は95億7千8百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業損失は、5億4千2百万円（前年同四半期は営業損失9億4千8百万円）、経常損失は5億2百万円（前年同四半期は経常損失9億5千6百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### <クリーニング>

個人向けのクリーニング事業は、中長期的に需要が減少傾向にありますが、新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただくことに注力するとともに、アパレルメーカーやインテリアメーカーなど異業種・他企業との連携・提携を推進し、お客さまとの接点拡大に努めております。

当第1四半期における新たな取組みとしては、カシミア・アンゴラ・シルクなどの高級素材品や毛皮・皮革製品等を対象に、湿度・温度管理の行き届いた保管庫でお預りする「プレミアム保管」の取扱いや、ブーツ3足のクリーニングと保管をセットにし、宅配便でお取扱いする「おまかせブーツパック」の販売を開始いたしました。

クリーニング事業における第1四半期の売上は、季節的要因として例年低位に推移する傾向がありますが、3月の気温の上昇とともに冬物衣料の衣替えも加速したことから、売上高は43億9千1百万円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント損失（営業損失）は5億6千1百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）9億6千1百万円）となりました。

#### <レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等向けのリネンサプライ部門と工場等の事業所向けのユニフォームレンタル部門に大別されます。

リネンサプライ部門においては、3月の気候に恵まれたこともあり、都心部、リゾート地区の宿泊稼働に回復傾向が見られ、取扱い数量が増加いたしました。リネン購入に伴う償却負担の増加が利益の圧迫要因となりました。

また、ユニフォームレンタル部門においては、昨年新規獲得した食品関連企業のユニフォームの取扱い数量の増加に加え、コンビニエンスストア、飲食関係のユニフォームの底堅い需要に支えられ、売上は順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は44億3百万円（前年比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2億4千5百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。売上高は2億4百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1億6百万円(前年同四半期比13.1%増)となりました。

<その他>

その他事業のうち、事業所及び家庭用モップ・マット等を供給するケミサプライ部門、並びにオフィス等の清掃、リフォーム等を行うハウスケア部門においては、レンタル事業とのクロスセリングを推進しましたが、同業他社との競争環境が厳しく、取扱いが減少いたしました。

しかしながら、ユニフォーム販売での売上増加や収益改善等により、売上高は12億9千2百万円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益(営業利益)は7千7百万円(前年同四半期比423.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ19億4千万円増加し、315億7千万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加1億7千1百万円等により5億9千8百万円増加し、107億9千万円となりました。

固定資産は、土地の増加10億4千7百万円等により13億4千1百万円増加し、207億7千9百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の増加13億9千9百万円等により9億6千5百万円増加し、123億5千5百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加10億5千3百万円等により10億1百万円増加し、133億2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少3億5千4百万円等により2千6百万円減少し、59億1千2百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の18.5%から17.2%へ減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、平成25年2月18日に発表いたしました平成25年12月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	825	996
受取手形及び売掛金	3,829	3,878
たな卸資産	4,618	4,623
繰延税金資産	354	513
その他	579	797
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	10,191	10,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,199	18,273
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,666	△12,746
建物及び構築物（純額）	5,532	5,526
機械装置及び運搬具	7,785	7,796
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,965	△6,782
機械装置及び運搬具（純額）	819	1,013
土地	5,963	7,010
その他	3,237	3,222
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,075	△2,106
その他（純額）	1,161	1,116
有形固定資産合計	13,477	14,668
無形固定資産	318	301
投資その他の資産		
投資有価証券	2,565	2,886
差入保証金	1,818	1,811
繰延税金資産	1,257	1,118
その他	96	97
貸倒引当金	△95	△103
投資その他の資産合計	5,641	5,810
固定資産合計	19,438	20,779
資産合計	29,629	31,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746	2,788
短期借入金	3,731	5,130
1年内返済予定の長期借入金	1,964	1,912
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	253	55
賞与引当金	187	323
その他の引当金	20	18
その他	2,426	2,066
流動負債合計	11,389	12,355
固定負債		
社債	160	130
長期借入金	6,215	7,269
退職給付引当金	2,698	2,790
役員退職慰労引当金	236	191
環境対策引当金	36	36
資産除去債務	198	207
その他	2,757	2,678
固定負債合計	12,301	13,302
負債合計	23,691	25,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,496	1,496
利益剰余金	1,808	1,454
自己株式	△230	△230
株主資本合計	5,484	5,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	511
為替換算調整勘定	△217	△204
その他の包括利益累計額合計	△3	307
少数株主持分	456	474
純資産合計	5,938	5,912
負債純資産合計	29,629	31,570



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	9,178	9,578
売上原価	8,780	8,781
売上総利益	397	796
販売費及び一般管理費	1,346	1,338
営業損失(△)	△948	△542
営業外収益		
受取配当金	5	6
受取補償金	15	16
為替差益	9	61
その他	33	37
営業外収益合計	64	122
営業外費用		
支払利息	62	59
シンジケートローン手数料	1	1
その他	9	21
営業外費用合計	72	82
経常損失(△)	△956	△502
特別利益		
投資有価証券売却益	—	140
特別利益合計	—	140
特別損失		
固定資産処分損	10	5
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△967	△366
法人税、住民税及び事業税	81	50
法人税等調整額	△423	△171
法人税等合計	△342	△121
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△625	△245
少数株主利益	11	11
四半期純損失(△)	△636	△256

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△625	△245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	297
為替換算調整勘定	△0	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△4
その他の包括利益合計	182	316
四半期包括利益	△443	71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△454	53
少数株主に係る四半期包括利益	11	17

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注2) (百万円)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3) (百万円)
	クリー ニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	3,955	4,319	198	8,473	1,224	9,697	△519	9,178
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△961	268	93	△599	14	△584	△364	△948

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△364百万円には、セグメント間消去21百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△386百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注2) (百万円)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3) (百万円)
	クリー ニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	4,391	4,403	204	9,000	1,292	10,292	△714	9,578
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△561	245	106	△209	77	△132	△409	△542

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△409百万円には、セグメント間消去△30百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△379百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。